

業務中事故報告書（第2報）

1. 発注（報告）機関 名古屋支社 ■■■ 保全・サービスセンター (立会者)

2. 業 務 名 2023年度 中央自動車道 ■■■ 管内維持修繕業務

3. 発 生 日 時 2024年2月13日（火曜日） 9時35分頃（天候：晴）

4. 発 生 場 所 E19 中央自動車道 西宮線 上り 283.8KP 付近
 （地先，IC間，測点など） （園原IC～中津川IC間）

5. 業務の概要

(1) グループ会社名 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社（契約者所在地）名古屋

(2) 発 注 区 分 本社，(支社)，保全・サービスセンター

(3) 工 期 2023年4月 1日から 2024年4月30日まで（進捗率 %）

(4) 請 負 金 額 _____ 円 (5) 延べ労働時間 _____ 時間

6. 事故の状況

伸縮装置漏水対策工の施工で使用するコンプレッサーエアースのバルブに足が接触し、バルブが開いたことでエアースが噴出してホースの先端が車線規制外へはみ出し、ホース上を大型トラックが通過したものを。

7. 被災状況（公衆損害事故については、その第一原因者についても記入すること。）

公衆，作業員 などの区別	(ふりがな) 氏 名	性別 年齢	職種 経歴	当現場 の経歴	被災者の住所		負傷程度
					所属業者名（本社所在地）	元請との関係	
-	-	-	-	-	-	-	-

(物損状況)

(相手方) 被害報告なし (当方) なし

8. 事故に対する所見（原因考察，警察・労基署の所見など）

不明

9. 事故発生後の処置
 (業務現場)

9：35頃 現場責任者からメンテ担当へ連絡あり。

9：45頃 メンテから■■■ HSC 保全計画へ報告。

16：50頃 緊急安全大会実施

10. 取材及び報道 無し

(本業務の本件までの事故状況) 21件，うち死亡 0件，負傷 0件，物損その他 21件

様式第6号の2

1 1. 事故原因の詳細 (後日提出)

発生原因	人的要素		物的要素		管理的要素	
	・作業範囲内の路面にホースを直置きしていた。		・ストッパー等が無いバルブのため意図しない接触により容易にバルブが開く仕様だった。		・作業中のホースの置き場が明確でなかった。	
	原因評価 (◎ ○ △)	◎	原因評価 (◎ ○ △)	○	原因評価 (◎ ○ △)	◎

※ 原因評価：事故との関連性 重大=◎ 中程度=○ 軽度=△



【人的要素に基づくヒューマンエラー要因】

※ 事故原因と考えられる人的要素に○印をつける。(複数可)

H 1	無知 未熟練 経験不足 教育不足
H 2	<u>危険軽視</u> 慣れ 悪習慣 集団欠陥
H 3	<u>近道本能</u> 省略本能 能率本能
H 4	場面行動本能 (1点に集中して周囲の状況が見えなかった)
H 5	緊急時のあわて パニック状態
H 6	外的要因錯覚 (見間違い、聞き違い等) 内的要因錯覚 (思い込み等)
H 7	中高年齢者の機能低下
H 8	疾病 疲労 体質 急性中毒等
H 9	単調反復動作による意識レベルの低下

1 2. 事故対策

再発防止対策	人的要素	物的要素	管理的要素
	・作業途中であっても、使用中でない器具は路面に直置きせず、所定の場所 (荷台) へ片づける。使用しない場合はコンプレッサーのバルブを閉めておく。	・ロック式ボールバルブを採用する。	・ホース先端を縦置き可能な器具を試案する

※ 対策内容の説明資料を添付すること。

【第2報(終報)】E19中央道 ⊕283.8 KP付近規制外へはみ出したエアースーツにトラックが乗り上げる事象

【発生日時】 2024年2月13日(火) 9時35分頃

【発生場所】 E19中央自動車道 上り線 園原IC～中津川IC間
283.8.KP付近

【工事件名】 2023年度 中央自動車道 管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社

【概要】 伸縮装置漏水対策工の施工で使用するコンプレッサーエアースーツのバルブに足が接触し、バルブが開いたことでエアースーツが噴出してスーツ先端が車線規制外へはみ出し、大型トラック1台がスーツを乗り上げ通過したもの

【被害状況】 人的損害 : (相手方) なし (当方) なし
物的損害 : (相手方) 被害報告なし (当方) なし

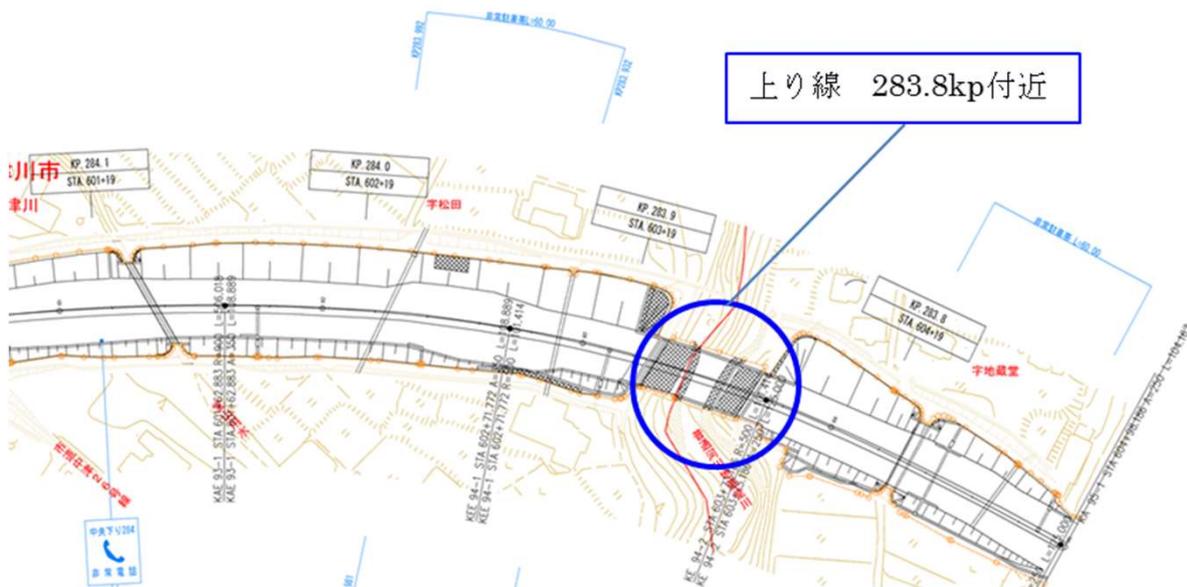
【第三者被害】 同上

【マスコミ報道】 なし

【時系列】

- 2/13 9:35頃 現場責任者からメンテ担当者へ連絡
- 9:45頃 メンテからHSC保全計画課へ報告
- 16:50 緊急安全大会実施

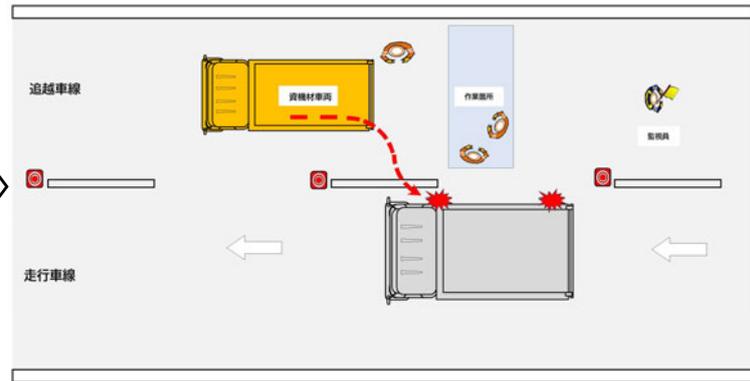
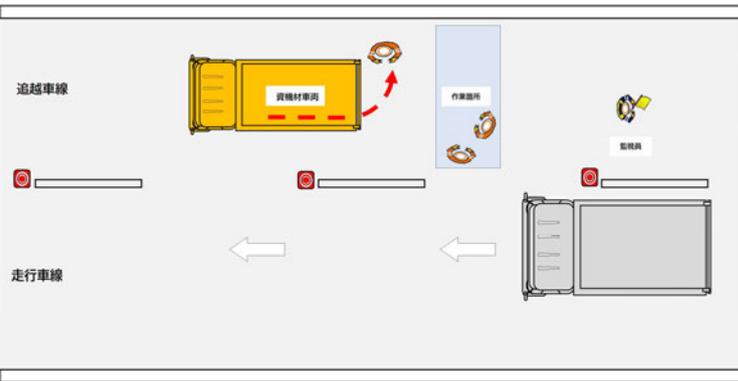
【発生場所】



【状況写真】



【状況図】



足が接触してバルブが開いてエアが噴出

ホース先端が車線規制外へはみ出し

- 【原因】
- 作業中のホースの置き場が明確でなく、作業範囲内の路面にホースを直置きしていた
 - ストッパー等がないバルブのため、意図しない接触により容易にバルブが開く仕様だった

- 【対策】
- 作業途中であっても使用していない器具は路面に直置きせずトラック荷台に片づける
 - また、片付け方法としてホース先端を縦置き可能な器具を試案する
 - ロック式ボールバルブを採用する

(図1:ロック式ボールバルブ)



【安全大会実施状況】

